

ボランティアグループ

活動助成金 交付のてびき

(平成30年度版)

この助成金は、高島市民の皆様にご協力頂いた共同募金が財源です。



【お問い合わせ先】

社会福祉法人高島市社会福祉協議会内
高島市共同募金委員会事務局

高島市勝野 215 番地 高島市役所高島支所 2階

TEL0740-36-8220 FAX0740-36-8221

【お近くの社協窓口はこちら】

地域	施設名	住所	電話
マキノ	はあとふるマキノ	マキノ町新保 1095 番地	27-1700
今津	えがお屋本舗上弘部店	今津町上弘部 4 3 8 番地の 2	28-7525
朽木	はあとふる朽木	朽木市場 593 番地 1	38-8000
	寄り合い処「くつつき」(金曜のみ)	朽木市場 324 番地	—
安曇川	安曇川老人福祉センター	安曇川町田中 459 番地	32-1137
高島	高島市役所高島支所 2階 地域福祉課	勝野 215 番地	36-8220
新旭	新旭総合福祉センター やすらぎ荘	新旭町北畑 45 番地 1	25-5730



共同募金助成金 交付のてびき

【ボランティアグループ活動助成金】

目次

～高島市共同募金委員会からの助成金～

◆ボランティアグループ活動助成金

1. 助成の目的	2
2. 助成対象の団体	2
3. 助成の対象となる事業	2
4. 助成の額	2
5. 助成金交付の流れ	3
6. 助成の明示	4
7. 助成金の返金・事業計画の変更	4
8. 共同募金運動への参加	4

◆申請書等の記入例

申請書（様式1）	5～8
請求書（様式2）	9
実績報告書（様式3）	10～14

◆付録	15
-----	-------	----

●高島市でご協力いただいた赤い羽根共同募金は、

約70%は、高島市内の福祉活動に

約27%は、滋賀県内の広域的な福祉活動に

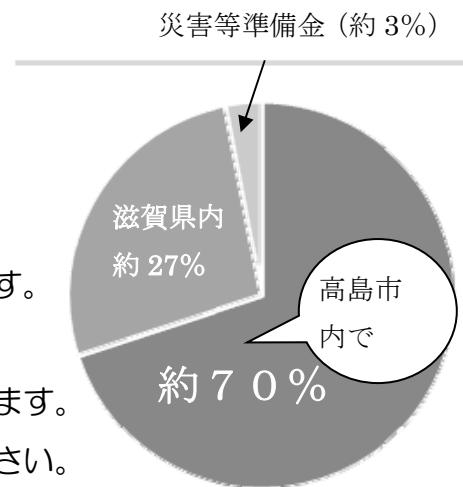
約3%は、万が一の災害に備えています。

●高島市の約70%は、市内の多くのボランティアグループ
や福祉関係団体へ助成金として交付し、活動を応援しています。

また、多くの人たちを協議して策定した住民のための

「高島市地域福祉推進計画」に基づいた活動にも使われています。

詳しくは、高島市共同募金委員会事務局までお問い合わせ下さい。



ボランティアグループ活動助成金の交付について

1. 助成の目的

高島市共同募金委員会は、誰もが安心して暮らせる福祉のまちづくりの推進を目的に活動する高島市内のボランティアグループに対して、福祉活動がより充実したものとなるよう助成金を交付します。

2. 助成対象の団体

高島市内のボランティアグループで、以下のすべてに該当することが条件です。

- ①ボランティア活動を目的とし、継続して活動していること。
- ②活動内容が地域に密着したもので、福祉的要素があること。
- ③ボランティアグループ構成員は3名以上であること。

3. 助成の対象となる事業

- ①市内でおこなうボランティア活動です。
- ②平成30年4月1日から平成31年3月31日の間の事業が対象です。

4. 助成の額

次の①と②を合計した金額となります。

- ①基本助成金1グループあたり、15,000円
- ②メンバー助成金

申請される時の構成員の人数に500円をかけた金額（ただし、上限は30人）



助成対象となる経費 (事業に直接使う費用)	助成対象とならない経費
事業の実施に直接必要な経費（講師謝礼、講師旅費、食糧費（材料費に限る）、消耗品費、印刷製本費、通信運搬費、保険料、使用料及び賃借料、消耗品購入費、会議費、その他会長が認める経費	団体運営費 (事務所家賃、光熱水費、人件費等) 事務機器備品（パソコン、プリンター、プロジェクター、デジタルカメラなど）

グループの構成員のみを対象とした慰労会や忘年会は助成対象外ですのでご注意ください。

5. 助成金交付の流れ

6月下旬 交付のてびき、申請書、請求書、実績報告書用紙の送付

- ホームページでもダウンロードできます。



～7月20日 申請書(様式1)・請求書(様式2)の提出

- 提出期限7月20日(金)
- 高島市共募事務局もしくは、社協窓口(てびき表紙参照)へご提出下さい。



8月初旬高島市共同募金委員会審査委員会の開催

- 申請内容を審査します。
- 不明な点などがありましたら伺うことがあります。
- 審査の結果、助成交付できないことがあります。



審査委員会とは住民の声を公正に代表する者で構成され共同募金の助成の審査を行う機関です。

助成金交付決定通知の発送、助成金の振込

- 交付決定額と振込額をご確認下さい。振込日は8月20日(予定)です。



助成金の返金、事業計画を変更する時は、高島市共募事務局へ必ず連絡して下さい。

事業終了後、実績報告書(様式3)の提出

(添付：事業のチラシ、活動の写真等)

- 提出期限3月22日(金)(厳守)
- 高島市共募事務局もしくは、社協窓口(てびき表紙参照)へご提出下さい。



～4月 実績報告書内容の審査ならびに確定通知の発送

- 高島市共募事務局から確定通知を送付します。
- 審査の結果、助成金をご返金いただくことがあります。

6. 助成の明示

- ①事業の実施にあたっては、共同募金を財源にした事業であることを案内チラシ等に明示してください。
- ②共同募金のマーク（15ページ）を付録として本てびきに添付していますのでご活用ください。

7. 助成金の返金・事業計画の変更

- ①何らかの理由で事業が実施できない場合
 - ②計画していた事業を変更する場合
- ※①②が発生する場合は、高島市共同募金委員会事務局までご連絡ください。

8. 共同募金運動への参加

赤い羽根共同募金運動にご理解をいただき、共同募金運動に積極的にご参加ください。街頭募金運動等のボランティア募集は、広報誌「しぶくのふくし」でご案内します。



Q：どんな活動をすればいいの？

A：高島市の皆さまには、「たかしまの町を良くしたい。」「たかしまの町が良くなってほしい。」という気持ちを込めて共同募金にご協力いただいています。

そんな気持ちのつまった共同募金を財源にしておこなう事業です。

「赤い羽根共同募金に是非、応援してほしい」と、皆さん（グループ、団体）で協議して申請してください。

具体的には地域の課題解決（例えば、見守り活動や生活支援、障がい者の社会参加・交流事業、子育て支援など）に取り組む事業ですが、遠慮なく、ご相談ください。

地域で暮らす私たちが、私たちのために、

地域で集めて、地域で活用する赤い羽根共同募金だから、

「じぶんの町を良くするしくみ。」です。

赤い羽根共同募金キャッチフレーズ

平成30年 7月 日

平成30年度高島市共同募金委員会助成事業申請書

ボランティアグループ活動助成金

高島市共同募金委員会 会長 様

申請者	住 所	〒520-1121 高島市勝野 215	
	団体名	(ふりがな) 傾聴ボランティアグループ〇〇	
	代表者	(役職) 代 表	(氏名 ふりがな) 〇 〇 〇 〇 印
	電 話	〇〇—〇〇〇〇	出来るだけ日中に連絡が取れる番号
申請者以外に連絡を希望される場合のみご記入ください。	連絡先〒	同 上	電 話
	氏 名		携帯電話

1. 事業計画

事業名	事業の内容や目的を、端的に表すわかりやすい名前をつけて下さい。 傾聴活動
事業の目的	解決したい地域福祉課題をご記入下さい。 地域社会で孤立した方や、悩みを抱えた方の気持ちに寄り添い、傾聴することで相手の心を元気にする。
事業内容	事業内容を全体的に簡潔にまとめて下さい。 傾聴を希望される方がいらっしゃる施設やご自宅まで訪問し、お気持ちに寄り添いお話をお聴きする。1回の訪問は1時間で、2名で訪問する。活動は通年実施している。 隔月で学び会を開催し、傾聴のスキルアップを行うとともに、ピアカウンセリングを行い、メンバー間の気持ちのリフレッシュを図る。

ボランティアグループ活動助成金

参加 予定 人数	のべ 488人	主な 活動 場所	市内各施設 及び依頼者宅
----------------	----------------	----------------	--------------

期待できる効果と今後の展望

寂しい気持ちや、一人で思い悩んでいる方の気持ちが明るくなったり、気持ちの整理ができるようになる。また、定期的な訪問で孤立を防ぎ状態の変化も確認できる。活動の継続により、ボランティアとしてはスキルアップを、住民にはより多くの方に笑顔を取り戻していただきたいと考えている。

事業を進めるうえで、社協や共募に期待する支援をご記入ください。

社協との二人三脚で進めている活動なので、傾聴の周知をお願いしたい。
また、メンバーも少ないので増やすために広報してほしい。

2. 事業予算書

※通常の年間予算全部ではなく、本事業に係る経費のみをご記入ください。

※◎1（収入合計）と◎2（支出合計）は同額になります。

科 目	金 額 (円)	積 算 内 訳
収入の部		
①共同募金助成金	15,000	基本助成金
②共同募金助成金	15,000	メンバー助成@500×30 名
収入合計	30,000	◎1
科 目	金 額 (円)	積 算 内 訳
支出の部		
諸謝金	10,000	学び会講師謝礼@2,000×5 回
保険料	6,000	ボランティア活動保険@300×20
消耗品費	6,000	学び会、総会資料、利用者へ渡すカード、コピー用紙、カード用紙
燃料費	8,000	活動者に対して1人400円の補助
支出合計	30,000	◎2

同額になります

3. 団体の概要

団体の目的	地域社会で孤立している方や、寂しい思い、誰かと話したいと思っている方たちを訪問し、心に寄り添い、しっかりとお話をお聴きして、相手の方の気持ちを軽くするお手伝いをする。		
主な活動	傾聴 お話し相手		
団体としての 問題点や課題	活動者が依頼に応えられるだけメンバーがいらない		
構 成 員 名 簿（既存の名簿を添付していただいても結構です）			
1	高島ききこ	16	〇〇〇〇
2	高島ききた	17	〇〇〇〇
3	高島キキ	18	〇〇〇〇
4	〇〇〇〇	19	〇〇〇〇
5	〇〇〇〇	20	〇〇〇〇
6	〇〇〇〇	21	〇〇〇〇
7	〇〇〇〇	22	〇〇〇〇
8	〇〇〇〇	23	〇〇〇〇
9	〇〇〇〇	24	〇〇〇〇
10	〇〇〇〇	25	〇〇〇〇
11	〇〇〇〇	26	〇〇〇〇
12	〇〇〇〇	27	〇〇〇〇
13	〇〇〇〇	28	〇〇〇〇
14	〇〇〇〇	29	〇〇〇〇
15	〇〇〇〇	30	〇〇〇〇

※30名を超える場合は、別紙（様式問わず）にてご報告下さい。

高島市共同募金委員会助成金請求書

高島市共同募金委員会会長 様

請求者	住 所	〒520-1121 高島市勝野 215	
	団体名	(ふりがな) ケイチョウボランティアグループマルマル 傾聴ボランティアグループ〇〇	
	代表者	(役職) 代 表	(氏名 ふりがな) 〇 〇 〇 〇 印
	電 話	〇〇—〇〇〇〇	出来るだけ日中に連絡が取れる番号
請求者以外に連絡を希望される場合のみご記入ください。	連絡先〒	同 上	電 話
	氏 名		携帯電話

下記のとおり高島市共同募金委員会助成金(助成金名：ボランティアグループ活動助成金)を請求します。

請求金額	30,000	円
------	--------	---

振込口座（個人の口座には振込できません。団体で開設した口座を指定下さい。）

金融機関名 △ △ 銀行 農協	支店名 □ □ 支店	種類種別 (普通 当座)
口座番号 012345	口座名義 【フリガナ】タケイチョウボランティアグループマルマル 傾聴ボランティア〇〇	

※指定金融機関がゆうちょ銀行の場合は、金融機関から振込をする場合の支店名・口座番号をご記入下さい。

※口座名義等の間違いが無いよう、また、必ずフリガナもご記入下さい。

口座確認のため、通帳見開きページのコピーを貼付下さい。(口座名義がカタカナで印字されているもの)

貼付欄

平成30年度高島市共同募金委員会助成事業実績報告書

ボランティアグループ活動助成金

高島市共同募金委員会 会長 様

報告者	住 所	〒520-1121 高島市勝野 215	
	団体名	(ふりがな) 傾聴ボランティアグループ〇〇	
	代表者	(役職) 代 表	(氏名 ふりがな) 〇 〇 〇 〇 印
	電 話	〇〇—〇〇〇〇	出来るだけ日中に連絡が取れる番号
報告者以外に連絡を希望される場合のみご記入ください。	連絡先〒	同 上	電 話
	氏 名		携帯電話

事 業 名	傾聴活動
助成決定額 ①	_____ 30,000 _____ 円 助成金額を記入してください。
精算額 ②	_____ 30,000 _____ 円 助成金額の内、支出した額。
差 額	① — ② _____ 0 _____ 円 差額が生じた場合は返金になります。

【添付書類】

- 事業報告書
- 会計報告書
- 領収書 (コピー可)
- 活動がわかる写真・広報物等

※ 提出期限 平成31年3月22日

(3月22日時点で事業が終了していない場合は事務局までご連絡ください)

事業報告書

事業の内容とその実施方法につき実施の体制も含めて簡潔に記入してください。

※実施日、実施回数、参加者数など、実施された事業の内容がわかるようにご記入ください。

傾聴活動

通年で活動を実施

20名の傾聴希望者を月1～2回、2名体制で訪問し傾聴活動を行った。

学び会

5月 認知症について学ぶ 参加者 18名 講師 ○○○○氏

7月 回想法について学ぶ 参加者 22名 講師 社会福祉協議会
○○氏

9月 事例検討 参加者 14名

11月 ○○市傾聴ボランティアグループと交流会 参加者 25名

1月 事例検討 参加者 19名

※これをもとに、助成事業の内容を公開しますので、全体的に簡潔にまとめてください。

事業の成果（この事業をとおして、感じたことや嬉しかったことなどをご記入ください。）

（記入例）

- 一人の困りごととせず、対策を取れるようにしていくことが合意できた。
- 地域で困っている方の生活支援を日常的にしていく。
- 助成を受けて活動したことで「助けてくれて」ありがとう！・「教えてくれて」ありがとう！・「話を聞かせてくれて」ありがとう！と地域にいっぱい「ありがとう」が生まれた。

事業の課題（今後の課題）

（記入例）

- 一部の負担にならないように、活動への理解や協力を呼び掛けていく。

ボランティアグループ活動助成金

会計報告書

科 目	金 額 (円)	積 算 内 訳
収入の部		
①共同募金助成金	15,000	基本助成金
②共同募金助成金	15,000	メンバー助成@500×30名
会費より	280	
収入合計	30,280	◎1
科 目	金 額 (円)	積 算 内 訳
支出の部		
諸謝金	10,000	学び会講師謝礼@2,000×5回(交通費含む)
保険料	6,000	ボランティア活動保険@300×20人
消耗品費	6,280	学び会、総会資料、利用者へ渡すカード コピー用紙、折り紙、マジック他
燃料費	8,000	活動者に対してガソリン代補助 @400×20人
支出合計	30,280円	◎2

同額になります

※ ◎1 (収入合計) と◎2 (支出合計) は同額となります。

※ 領収書のコピーを提出してください。

領収書（コピー可）貼付用紙（領収書をここに貼ってください。）

貼 付 欄

付 録

※コピーをして切り取っていただき、チラシ等広報物に表示してください。

じぶんの町を良くするしくみ。
赤い羽根共同募金



きりとり線



きりとり線



きりとり線

この活動のために受けた助成金は、皆様にご協力いただいた共同募金が財源です。



きりとり線